

(家庭数配布)



## いじめについて (その3)

先日から掲載しています「いじめについて」の続きです。

「いじり」という言葉があります。友だちどうしで、言葉遣いや容姿、その他、相手のことを「いじる」ことが時々あります。相手との信頼関係が出来上がっている場合は、いじっても全く問題が起こらないことが多いです。ところが、信頼関係が出来上がる前（「自分としては信頼関係が出来上がっていると思っていた。」も含めて）は、そのいじりにより、相手に不愉快な感情を与えてしまうことがあります。ですから、相手のことに触れる場合は、慎重に言葉を選ばなければなりません。しかし、ここでもさらに難しい問題があります。自分としてはより慎重に言葉を選んで話しているつもりでも、人により感じ方は様々なので、言葉に表していなくても実は嫌な思いをしていたということもあります。このように、軽い「いじり」のつもりが、実は「いじめ」になっていたということもあるのです。

こうなると、他人とどこまでかわればいいのか、いっそのこと一人で過ごした方が楽じゃないか、と思われるかもしれません。しかし、「ダイヤモンドはダイヤモンドでしか磨けないように、人は人の中でしか磨けない。」という言葉もあります。人とうまくやっていくにはどうすればいいのか、それは、やはり人とかわる中で学習していくしかありません。ですから、子どもの頃は、思い切っている人とかかわってみることだと思います。このような子どもたちどうしのかかわりをしっかりと見守っていく、それが私たち大人の役割です。

### 「元気調査」

本校ではいじめの早期発見のため、毎学期ごとに「元気調査」というものを行っています。「学校は楽しいですか?」「頭やお腹が痛くなることはありませんか?」等、もし、子どもたちの心の中に悩みがあれば、できるだけ早くに見つけ出し、対処していくためのアンケートのようなものです。選択項目の他、文章表記をする欄もありますが、ここに「〇〇で困っています。」等が書かれていれば、個別に詳しく聞くようにもしています。

## ◇スズメバチの巣を撤去!

先日、1年生がアサガオの観察をしていました。「上手に描けているね〜。」「アサガオの葉っぱには細かい毛が生えているんだね。」などと、子どもたちと話していると、近くに木にカラスがとまっているのを見つけました。「あっ、これは危ない。もしかして近くに巣があるのでは?」と思いました。私は以前、カラスの巣をのぞき過ぎ、カラスに顔を覚えられ、しつこく追い回され、あやうく攻撃を受けそうになったことがあるのです。（皆さん、ご存知でしたか?カラスは人間の顔を覚えるのです。）その時のことを思い出し、子どもたちに万が一のことがあってはいけないと、巣を探しました。残念ながら巣は見つけれなかったのですが、たまたま近くの木にスズメバチが巣を作っているのを発見しました。これも危険です。早速、市役所に連絡し、その日のうちに巣の撤去に来てもらいました。私が撤去してもらった巣の写真を撮ったりしていると、ちょうど校庭で遊んでいたみどり学級の子供たちが集まってきた、その巣に興味深そうに見ていました。（そのハチはコガタスズメバチというらしく、スズメバチの中でも小さい方とのことでした。）すると、撤去に来てもらった業者の方が「これがオオスズメバチです。」と他の場所で駆除したハチも見せてくれました。「おおっ!確かに大きい。全然違う。」これにも子どもたちは興味津々。手に取ったりしていました。そうこうしているうちに外遊びの時間が終わったのですが、子どもたちはなかなか教室に戻ろうとしません。でも、これ、とても大切です。本や動画を観るだけではなく、実物を見たり触ったりすることが確かな知識として残るのです。たまたまアサガオの観察から始まった今回のことですが、ちょうどいい観察の機会になりました。



撤去したスズメバチの巣



オオスズメバチだよ

## ◇マスク着用の指導について

保護者の皆様もすでにご存じの通り、今後のマスク着用の緩和について、国が一定の方針を示しています。これを受け豊中市教育委員会からも各学校に通知がありました。本校でも全職員で確認した上で、近々子どもたちに指導を行う予定です。保護者の皆様にも指導の内容をお知らせ致しますので、ご理解とご協力をお願いします。